

高校教育課 教育メール

発行者：宮城県教育庁高校教育課
<http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/>

県立高等学校の特色ある学校づくりの取組や全日制課程普通科通学区域の全県一学区制等についての情報をお届けします。

なお、県立高等学校についての情報及び全県一学区についての情報は以下のホームページをご覧ください。

県立学校「公立高校ホームページ」

⇒ <http://www.pref.miyagi.jp/kyouiku/school/koukou.htm>

全県一学区決定までの経緯等

⇒ <http://www.pref.miyagi.jp/kyou-kikaku/>

全県一学区に向けての取組

⇒ <http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/ichigakku/ichigakku.htm>

■ もくじ ■

1：【巻頭言】

メールマガジンの発刊にあたって 高校教育課 高橋 仁 課長

2：【コラム】

工業高等学校 生徒会長 菅野智弘 君

3：【入試関係情報】

(1) 県立高校通学区域が全県一学区になることについて

(2) 公立高校オープンキャンパス（学校説明会等）日程一覧公表

4：【高校の特色ある取組】

(1) 一迫商業高等学校

(2) 米谷工業高等学校

5：【お知らせ】…… 高大連携で県内大学の公開授業・公開講座等を開設

6：【編集後記】

■ 1 巻頭言 ■

□ メールマガジンの発刊にあたって …… 高校教育課長 高橋 仁

このたび、高校教育課から宮城の県立高校の取組を紹介するメールマガジンを配信することとなりました。これまでも、教育委員会の広報誌である「PLANET（ぷらねっと）」や高校教育課の「ハイスクール・ネットワーク」などを通して、高校に関する情報をお知らせしてきました。しかし、平成22年度高校入試から全

県一学区となることを踏まえ、より多くの最新の情報を中学校関係者にお知らせし、中学生の皆さんの高校選びの参考にしていただきたいと考え、今回「メルマガ」を発行することとしました。

中学生の皆さんにとって、高校入試は中学校時代の最大のハードルだと思います。日々の学習とともに高校に関する各種の情報を収集して、入学してよかったと思える高校選びをしてほしいと思います。

中学・高校双方の教員にとっては、社会でたくましく生き抜く人を育てるためには、中学校や高校という校種をこえて「6年間で生徒の成長を支える」という意識をもつことが重要だと考えます。最近では、中学校と高校の先生が連携して授業の研究を行う取り組みが各地で活発に行われ始めていますが、このメルマガが、中学生の高校選びに役立つと同時に、中学校と高校の一層の連携強化の手がかりとなることを願っております。

■ 2 コラム ■

高等学校の校長先生、一般の先生、生徒代表などが、我が校に対する想い、最近の話題などについて語るコーナーです。その高等学校の新しい魅力が発見できるコーナーです。

□ Pioneer～自分の道を切り開け～ … 工業高等学校生徒会長 菅野智弘

本校は就職内定率・進学合格率ともに毎年100%という実績を持ち、生徒や先生に笑いが絶えない、とても明るい活気に満ちあふれた工業高校です。その成果は各部活動の大会上位入賞や、資格取得に取り組んだ結果のジュニアマイスター顕彰取得者数に表れています。みんなが、それぞれの目標に向かって充実した高校生活を送り、将来のスペシャリストを目指して日々努力しています。

また、我が校は生徒達が自主的に企画運営する学校行事・生徒会行事も大変充実しています。入学式直後の対面式にはじまり、各クラスが火花をちらす運動会や球技大会、学校をさらに良いものにしようと熱い意見交換が行われる生徒総会、そして1年のうちで最大の行事である宮工祭があります。この宮工祭には毎年地域からたくさんの方に来ていただいており、昨年は2000人近い来校者数を記録いたしました。中夕祭に行われる花火大会は地域の方々も楽しみにしています。その他、生徒会では米ヶ袋町内会の地域清掃ボランティアへの参加など、地域と密着した活動も行っています。年々、多くの方々に我が校を知っていただいていることに感謝の気持ちでいっぱいです。

部活動では運動部、文化部ともに盛んに活動しており、それぞれが素晴らしい成績を残しています。サッカー部、山岳部、バドミントン部、卓球部、陸上部、レスリング部はインターハイ・全国大会・東北大会に常に出場しています。文化部も弱電部のロボット相撲、吹奏楽部のマーチングバンドで東北大会出場、書道部の高校書道展推薦などの輝かしい結果を残しています。さらに工業科では、ものづくりコンテスト全国大会ポスターのデザインに2年連続採用されたり、技能オリンピック

全国大会へ高校生として2年連続出場を果たすなど素晴らしい記録を持つ生徒が大勢在籍しています。

このように本校では多くの生徒達が自分の歩むべき道を究めるために日々頑張っています。卒業後は諸先輩方にならい、工業分野に新たな道を切り開く者も現れることでしょう。

(教育広報 Web 版「PLANET」第5号(19.5.21 発行)からの転載。)

この文章に係る「運動祭」及び「宮工祭パレード」の写真は下のページからご覧ください。

[http://www.pref.miyagi.jp/kyouiku/PLA/PLA\(19.5.21\)/framepage\(top190521\).htm](http://www.pref.miyagi.jp/kyouiku/PLA/PLA(19.5.21)/framepage(top190521).htm)

ページを開いてから、左側の「Spot the School」をクリックしてください。)

■ 3 入試関係情報 ■

県立高校の入試関係情報を紹介します。

- 県立高等学校全日制課程普通科の通学区域が全県一学区になることについて
| … 教育庁教育企画室
|
-

1 見直しの内容

県教育委員会では、高等学校入学者選抜審議会から平成18年11月20日に答申された「県立高等学校の通学区域(学区制)の在り方について」を踏まえ、県内4箇所で開催した意見聴取会などでの県民の皆様の意見も参考にして、慎重に検討した結果、「答申のとおり現在の通学区域を撤廃し、生徒が自らの進路希望や学ぶ意欲に基づき、より主体的に学校を選択できるように制度を改正することが適当である」と判断し、以下のとおり見直し方針を決定(平成19年3月28日)しました。

- ・ 県立高等学校全日制普通科の通学区域(学区)は答申のとおり撤廃し、全県一学区とする。
- ・ 通学区域の撤廃の時期は、生徒・保護者への十分な周知等を図る観点から、平成22年度の入学者選抜(平成19年4月に中学校に入学した生徒が高校を受検する時)から実施する。
- ・ 通学区域の撤廃に当たっては、新制度について十分な周知を図るとともに、円滑な制度移行を期するため、魅力ある学校づくりの一層の推進及び生徒が適切に学校を選択できる環境の整備充実を図るなど、県教育委員会と学校が一体となって積極的に取り組むこととする。

2 全県一学区に向けた取組

(1) 周知・広報の徹底

現在、県教育委員会では、この制度移行が円滑に行われるために、周知・広報【県教育委員会ホームページへの掲載・リーフレットやポスターの配布・掲示、県政だより(7月号)への特集記事掲載、ラジオ放送(東北放送・FM

仙台等)】に努めておりますが、各中学校におかれましても、先生方から生徒・保護者の皆様に、学年集会や保護者会などの機会を捉え、全県一学区移行についての情報提供を含め、御指導いただきますようよろしくお願いいたします。

(2) 魅力ある学校づくり

通学区域の見直しについては、県民の皆様から様々な意見が寄せられました。その中で最も心配されているのは、「全県一学区となることによって、特定の地域や学校に志願者が集中するのではないか」ということです。これについては、中学生の進路希望や学習に関する興味・関心に応えるべく、これまで以上に各県立高校が特色ある学校づくりに一層力を入れていくなど、特定の地域や学校に志願者が集中しないよう取り組んでいきます。

(平成19年度の取り組み例)

- ・ 学校独自の企画による特色ある学校づくりを推進します。
- ・ 各地域の進路指導の拠点校として大学進学達成率の向上を目指します。
- ・ 職業観、勤労観を育み、就職の内定率向上を目指します。

なお、これらの取り組みについては、すでに各中学校に配布しているリーフレットの最終ページに詳しく掲載していますので、御覧ください。

(3) 高校情報の発信

各県立高校では、すでにホームページやオープンキャンパスなどを通じて、生徒・保護者の皆様に高校のことをお知らせしていますが、今後は、このメールマガジンを定期的に配信し、さらに高校の情報を提供いたします。また、平成20年度には、県立高校ガイドブックの作成・配布や県立高校合同相談会の開催なども計画しています。生徒・保護者の皆様が高校を選択する際に、中学校での進路指導にぜひご活用願います。

(4) 相談窓口の開設

全県一学区に伴う教育相談のための窓口を県教育庁高校教育課に開設（電話022-211-3624）し、生徒・保護者の方々からの相談にも応じておりますので、御活用願います。

《通学区域の変遷と見直しの検討の経過は以下のページにあります。》

[http://www.pref.miyagi.jp/kyouiku/PLA/PLA\(19.5.21\)/framepage\(top190521\).htm](http://www.pref.miyagi.jp/kyouiku/PLA/PLA(19.5.21)/framepage(top190521).htm)
ページを開いてから、左側の「視点」をクリックしてご覧ください。

□ 公立高校オープンキャンパス（1日体験入学等）日程一覧公表

平成20年度公立高等学校入学生対象の学校説明会（1日体験入学）等について、下記のとおり当課のホームページに掲載しましたので、お知らせします。

《リンクはこちら》

<http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/nyuushi/H19setumeikai.pdf>

■ 4 高校の特色ある取組 ■

宮城県の高等学校の特色ある取組についての情報を紹介するコーナーです。

今回は平成18年度の高校教育課通信「ハイスクール・ネットワーク」からの抜粋です。

□ 栗原版デュアルシステム（一迫商業高等学校）

一迫商業高等学校は、栗原地域の産業界と連携し、逞しく生き、将来有能な人材となる生徒の育成を目指して、平成17年度から（3年間）文部科学省の指定校となり、栗原版デュアルシステム（職業訓練システム）を実施しています。このシステムは「企業実習」、「販売実習」、「起業家研究」を3本柱としており、中でも「起業家研究」では、地元の企業「もちっ小屋でん」の協力・指導を受け、協同で商品を開発し、製造、包装、販売までの活動を行っています。

独自に開発してすでに市販されている「米ていら」（米からつくったカステラ）や「持夢子（もちむす）」（米からつくったムース）の美味しさは是非味わってみてください。

※「栗原版デュアルシステムの構造」や「米ていら」の写真など、くわしくは以下のページをご覧ください。

[http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/HSnetwork/\(79\)18-12.pdf](http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/HSnetwork/(79)18-12.pdf)

ページを開いてから、2ページ目をご覧ください。

□ カヌー製作と産業財産権取得（米谷工業高等学校）

米谷工業高等学校は、特許庁・社団法人発明協会から平成15～17年度「産業財産権標準テキスト（特許権）の有効活用に関する実験協力校」の委嘱を受け、川下りレース出場という地域との交流をしながら「安全性を高めたカヌー」を製作し、生徒たちのアイデアを特許出願しました。きっかけは、「みやぎ北上連邦川下りレース」に参加してゴムボートの操作に苦戦している自分たちを横目に、カヌーイストが北上川を水音もたてず滑るように漕ぎ進む様子を見て、自分たちもあんなふうにカヌーを楽しんでみたいという思いに駆られたからでした。

ものづくりの楽しさと難しさを学んでいく生徒たちの姿をご覧ください。

※高校教育課通信「ハイスクール・ネットワーク」第77・78合併号（18.11.30発行）から抜粋。「川下りレースの様子」や「手づくりカヌー」の写真など、くわしくは以下のページをご覧ください。

[http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/HSnetwork/\(77\)18-11.pdf](http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/HSnetwork/(77)18-11.pdf)

ページを開いてから、4ページ目をご覧ください。

■ 5 おしらせ ■

◆県立高校生を対象とした、県内大学の公開授業・公開講座等の開設

高校生が自ら学ぶ意欲を高め、興味・関心をもつ学問分野への理解を一層深めるとともに、主体的な進路選択を行い、進学後、大学の学習と生活に滑らかに接続できるようにするため、県内大学における公開授業や公開講座等が開設されています。

《くわしくはこちら》 <http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/renkei.html>

■ 6 編集後記 ■

「高校教育課教育メール」創刊号は、いかがでしたでしょうか。

今回は、これまでの情報を編集したものが多くなりました。

今後、県内の高等学校の旬な情報をたっぷりお届けしますので、「高校教育課教育メール」をよろしくお願ひします！
